

令和7年度 京都府MICE助成金制度

ミニMICEも支援！
分科会、エクスカージョンにも
ご利用いただきやすくなりました

京都府域で開催されるMICE^(※)を支援します

(※)MICEとは：企業会議 (Meeting)、企業の報奨・研修旅行 (Incentive)、国際会議 (Convention)、展示会・イベント (Exhibition/Event) の総称。

種類	対象	対象経費	助成金上限額	対象 MICE の要件		併用
				会期等	参加人数	
① コンベンション開催支援	C	京都府域（京都市内を除く）における会議等の開催に要する経費	現地参加者数が 30～49名：20万円 50～199名：30万円 200名以上：60万円	2日以上	30～49名： 1名以上の海外参加者あり 50名以上： 海外参加者要件なし	②③ との 併用可能
② コンベンション開催に伴う 分科会開催支援	C	京都府域（京都市内を除く）における分科会開催に要する経費	現地参加者数が 15～99名：20万円 100名以上：30万円	本体会議が①の「対象 MICE の要件」に該当し、かつ、京都府内を含む関西圏で開催されること ※分科会の日数は問わない ※本体会議と同一敷地内で開催されるものは対象外	15名以上： 海外参加者要件なし	①⑤ との 併用可能
③ コーポレートミーティング等 開催支援	M	京都府域（京都市内を除く）におけるコーポレートミーティング等の開催に要する経費	現地参加者数が 30～49名：20万円 50～199名：30万円 200名以上：60万円	2日以上	30～49名： 1名以上の海外参加者あり 50名以上： 海外参加者要件なし	⑤ との 併用可能
④ インセンティブツアー等 開催支援	I	京都府域（京都市内を除く）におけるインセンティブツアーの開催に要する経費	現地参加者数が 30～49名：20万円 50～199名：30万円 200名以上：60万円	2日以上	30名以上： 参加者の半数以上が 海外参加者	⑤ との 併用可能
⑤ エクスカージョン支援	C M I	京都府域（京都市内を除く）が1か所以上含まれるエクスカージョン催行に要する経費 ※参加者負担を除く、京都府域（京都市内を除く）の行程に係る経費に限る	1件当たり：30万円 (一人当たりの上限は5,000円)	京都府内を含む関西圏で開催される会期が2日以上 ・コンベンション ・コーポレートミーティング ・インセンティブツアー等 (半数以上が海外参加者であるもの) の会議等主催者によるもの	15名以上： 海外参加者要件なし	①② ③④ との 併用可能

受付期間：令和7年4月1日(月)～予算上限に達し次第終了

※人数や会期等の要件を満たした MICE が支援の対象となり、申請内容に応じて助成金額は異なります。詳細は交付要綱をご確認ください。

※関西圏とは、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県を指します。

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地 京都経済センター 3 階

TEL 075-353-3053 / e-mail kyoto@hellokcb.or.jp

meetkyoto.jp

検索

KYOTO
MICE FUND
京都 MICE 基金

京都の多彩な文化や芸術、美しい景観などの保全・継承、MICE・観光振興のための「京都MICE基金」へのご寄付を募っています。皆さまのご協力を願っています。



より深い京都を体感

『もうひとつの京都』エクスカージョン

京都市からひと足伸ばした先には、有形・無形の文化資源や、豊かな自然環境の中で育まれた自然資源に恵まれた「もうひとつの京都」があります。より深い京都の文化や自然を体感いただける訪問先をご紹介します。



海の京都

京都府の日本海側に面する「海の京都」は、古代より神話や伝説の舞台にもなった地。日本三景のひとつである天橋立や、漁村独特の風情を伝える伊根湾舟屋群など、海の歴史を形作ってきた風景を今に留めています。

天橋立

お酢蔵見学(飯尾醸造)

自社で農業不使用栽培米を原料に、古式「静置発酵」で酢を造る醸造元。事前のご予約で蔵見学・試飲ができます。



与謝娘酒造

与謝野町にある1887年創業の醸造所。田園と住宅と醸造所が一体となった素朴な蔵の見学・試飲ができます。



郷土食体験(橋立やまいち)

宮津市・伊根町の一部に残る郷土食「うご」を守り、次世代に繋ぐ取組を調理の体験を通じ学んでいただけます。



竹の里・乙訓

竹の径

「かぐや姫伝説」発祥の地のひとつとされているのが、美しい竹林が広がる「竹の里・乙訓」。京都市の南西に位置し、かつて長岡京という都が置かれていました。大阪方面へのアクセスも抜群です。



アサヒグループ大山崎山荘美術館
大正から昭和にかけて建てられた本館と安藤忠雄氏設計の新棟からなり、モネ『睡蓮』や庭園が楽しめる美術館。



高野竹工「竹生園」

竹箸づくりなどを体験し、完成品を持ち帰ることができます。園内竹林のガイドツアーやお茶席体験も可能です。

森が育んできた自然は、今も昔もそこに住む人々に多くの恵みを与えています。美山のかやぶきの里で見ることができ、土地の人々の暮らしぶりを伝える家々や、大江山をはじめとした山々からの雄大な眺めが、ここにはあります。



美山かやぶきの里



保津川下り

丹波亀岡から京都の名勝嵐山まで約16kmの渓流を約2時間で下るスリル満点の舟下りです。



茅葺き体験

日本の原風景といわれる「かやぶきの里」のガイドツアーや、茅葺き体験など人々の暮らしにふれることができます。



京都ほづ藍工房

京藍の栽培から藍染め加工まで行う工房。伝統的な染色「藍染め」の体験ができます。工程見学はご相談ください。



京都府の南部に広がる山城地域は、茶畑の景観と出会うお茶の産地。800年以上に渡り、日本のお茶文化を支え続け、抹茶や玉露に代表される高級茶を生み出してきました。



お茶の京都

和束の茶畑



お茶の体験

((一財)和束町活性化センター)
京都府の茶葉の半分を生産する茶どころ和束町。茶畑散策、茶摘み(季節限定)、茶香服など様々な体験ができます。



普茶料理(黄檗山萬福寺)

日本三禅宗の一つ黄檗宗の大本山「萬福寺」では、開祖隠元が中国から伝えた普茶料理や座禅などをお楽しみいただけます。

関西文化学術研究都市「けいはんな学研都市」の愛称で知られる、京都・大阪・奈良の3府県にまたがるサイエンスシティです。



けいはんなプラザ

けいはんな学研都市の中核施設。ホテル併設で、国際会議や企業ミーティングにも大変便利です。



けいはんな記念公園

広大な日本庭園「水景園」を庭園管理の専門家と巡るツアーや枯山水のミニチュア庭造り体験などが楽しめます。

訪問先や体験の一例を記載しています。ご要望に応じたアレンジなどをご提案させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ総合窓口

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階
TEL 075-353-3053 / E-mail: kyoto@hellokcb.or.jp



KYOTO MICE FUND

https://meetkyoto.jp/ja/kyoto/fund/
京都MICE基金 検索

各エリアお問い合わせ先

海の京都DMO
TEL 0772-68-5055



森の京都DMO
TEL 0771-22-9800



竹の里・乙訓



お茶の京都DMO
TEL 0774-25-3239



けいはんなコンベンション
誘致推進協議会
TEL 0774-95-5200

